

1 目 的

- (1) 地震、津波の災害時における避難を安全かつ迅速に行えるように防災の意識を高める。
- (2) 訓練を通して、非常時の避難経路・避難場所の決定までの方法、職員のとるべき行動を確認する。

2 期 日 令和元年11月19日(火)

3 時 間 15時10分～15時45分(45分授業)

4 避難場所 晴天時・・・グラウンド(部室前)
雨天時・・・体育館

5 整列隊形 体育館を正面に各クラス2列縦隊、
(農場側1年・中央2年・教室棟側3年・分教室は1年横に学年ごとに整列)

6 避難経路

(1) 教室棟から

- ①南側階段(昇降口側) → 武道場前出入り口・昇降口 → グラウンド
- ②北側階段(売店横) → 介護実習室横出入り口 → → グラウンド

(2) 特別教室棟から

- ①教室棟北側階段(売店横) → 介護実習室横出入り口 → グラウンド
 - ②分教室横階段 → 林業科出入り口 → → → グラウンド
- ※体育館2階への通路下を通る場合は崩落の危険がないか注意する

(3) 体育館へ避難する場合は1階から入る

7 危機管理マニュアルより〈地震発生時の心得〉

(1) 「強い揺れを感じたら」

- 屋内にいる場合は、慌てて屋外に飛び出さず、落下物や倒壊による被害を避けるため、棚、ロッカー、窓ガラス等から離れる。
机の下等にもぐり込むか、鞆や本などで頭部を保護しながら姿勢を低くして揺れがおさまるのを待つ。
- 動ける余裕がある場合は、避難路を確保するため戸を開けておく。なお、屋外にいる場合は、校舎や塀、倒壊する可能性の高い工作物などから離れて姿勢を低くする。

(2) 「強い揺れがおさまったら」

- 火気使用の場合には直ちに消火しガスの元栓を締め、電気器具のコンセントを抜く。
- 避難指示の校内放送を正確に聞き、避難経路、避難場所を確認する。
- 特に屋内では、「押さない、走らない、しゃべらない」避難態度に徹する。
- パニックに陥らずに安全・迅速に避難する。
- 集団から離れて逆戻りしない。

(3) 「火災を発見したら」

- 火災を発見したら、非常ベルを押し、迅速に教職員に連絡する
- 煙が充満している場合は、ハンカチ等を口にあて、姿勢を低くして避難する。
- 防煙対策のためハンカチを常時携帯する。

(4) 「避難場所に到着したら」

- 避難場所に集合する際は、整列して着座し、人員確認を正確・迅速に行う。

職員は大声で指示し、生徒の安全確保・負傷者や出火等の情報があれば迅速に連絡

地震・津波避難訓練日程および訓練内容

時刻	事項	指示内容・動き
14:30	事前打ち合わせ	14:30~15:00 (校長室) ・防災士との打ち合わせ (校長、教頭、事務長、防災主任)
15:10	緊急地震速報 (CD音源)	・授業者は落ち着くよう指示し、生徒に次の点を伝える。 ①机の下へ移動。机の脚を握る。動かない。頭を守る。 ②屋外の場合は危険な場所(建物)から離れる。身を守る
	地震発生 (CD音源)	・姿勢を低くし、強い揺れに備える。 ・揺れがおさまるまで、その場を動かない。
	校舎内の被害 状況を把握	・教頭、普通科職員室、進路室の在室者は校長室に集まり、避難経路、避難場所の被害状況を把握し安全確認。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">放送 「訓練放送。訓練放送。強い地震が発生しました。安全確認をしています。生徒は、落ち着いて待機して下さい。避難指示に備えて下さい」 ※2回繰返す</div> ・授業担当者は避難口を確認し避難指示があるまでは生徒を教室から出さない。
	災害情報収集	・事務室職員は震源地、震度、津波情報等の情報を収集する。 (スマホ、テレビ、ラジオ、防災無線)
15:12	避難指示	◆教頭→事務室 (事務室から避難指示の校内放送) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">放送 「訓練放送。訓練放送。周囲の状況に注意しながら(グラウンド)へ避難してください」 ※2回繰り返す</div>
	避難開始	・生徒へ「避難場所」「避難経路」の指示。生徒を誘導し速やかに避難場所へ避難する。 ・授業担当職員は状況を確認しながら避難経路を判断する。 ・対応可能な職員は誘導補助、居残り生徒の各教室、トイレ等の確認。 AED、救急バッグ()、担架() ⇒本部へ
	本部の設置	・校長、教頭は避難場所に災害対策本部を設置する。 (本部には目印の旗を立てる)
	集合整列	・生徒は避難場所に集合隊形に整列、座る。
	人員点呼	○生徒：学級委員長 → 授業担当者 → 教頭 → 校長 ○職員：点呼報告者 → 事務長 → 校長 ○分教室：学部主事 → 芦高教頭 → 芦高校長
	災害情報	・事務室職員は災害情報を本部へ報告。 ・一次避難場所が危険な場合は二次避難場所へ誘導する。
15:20	防災士指導 学校長講評	NPO 法人日本防災士会熊本県支部 支部長 様 校長
15:30	高台の確認	・地震後の二次災害「津波」浸水に備え高台(峰崎)の確認。 登り口、避難場所をクラスごとに山を登って確認する。
16:00	防災士より 指導・助言	16:00~16:30 (校長室) ・防災士より指導助言 (校長、教頭、事務長、防災主任)